

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年1月23日(木)
第29号

◆『就職に向けての取り組み』として◆

本校で、北九州障害者しごとサポートセンターのプロモーター事業の一環として、「就職に向けての取り組みについて」と題して、学校説明会が実施されました。

当日は、企業からの特別公演や北九州障害者しごとサポートセンター所長様より「働くために必要な準備について」の講話、福岡障害者職業能力開発校(能開校)からは、特別支援学校早期訓練コースの紹介などがありました。

企業からの特別公演として「サンアクアTOTO」総務部長様から『企業で働くということ』という題目で講演をしていただきました。



会社として求める人物として大切な事項を4つお話していただきました。

①『働きたい』という気持ちのある人

一生懸命に仕事に取り組む。よりよく仕事ができるように自分で考える。難しい仕事でもすぐにあきらめずに行動できる。障害受容ができている。

②社会人の基本を身につけられる人

挨拶ができる。決まりを守る。相手を大事にする。「報告・連絡・相談」ができる。

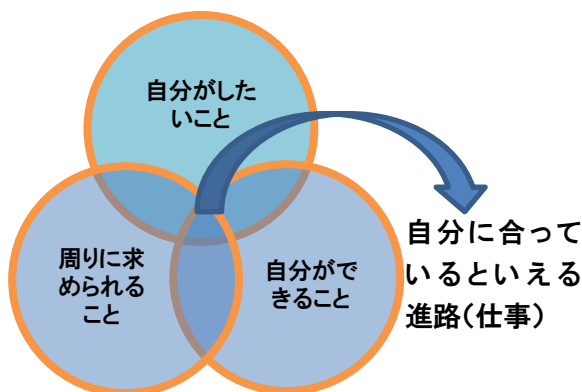
③体調管理、規則正しい生活ができる人

健康を自己管理できる。正しい身だしなみができる。

④人間性を身に着けた人

嘘をつかない。周囲の意見が素直に聞ける。周りの人を大切にする。自分で考え動く。

就業支援としては、障害特性や習熟度に応じ、個人別に生産計画表を作成したり、一人一人が継続的な改善活動を行ったりできるよう取り組みがなされています。また働く意欲を高めるために、障害種別の研修やサポート者向け研修のほか、社内技能大会も行われています。さらには、仕事しやすい職場環境を作るために、家族や地域・社会とのつながりを大切にするとともに、社員同士の交流を図り相互理解を深めるような活動を行っています。



学生生活では、学校や家庭での人とのかかわりを通じて、学び、身につけてきたことを活かせるように、将来の望ましい生活をイメージしてみること。また、「自分ができること」「自分がしたいこと」「周りに求められること」の重なった部分が自分に合っているという進路(仕事)に繋がるのではないかとということでした。

北九州障害者しごとサポートセンター所長の講話内容は、進路だより30号でお伝えします。